

(タイトル：ゴシック 12ポイント 強調 中央揃え)

## 「事業名」知的障害者のための生涯学習事業

(担当教員職・氏名、所属学科：中央揃え、ゴシック、強調、11ポイント。)

**職・氏名：講師・西村 愛**

**所属学科：社会福祉学科**

### I. 事業の背景

本学で、知的障害のある人たちのオープンカレッジを開講して11年目になる。これまで、講師にかかる費用を抑えるため、本学教員やサークルの学生などに依頼して、生涯学習支援を行ってきた。しかし、参加している知的障害のある参加者からの「もっと色々な講座を受けたい」という声を受け、地域で活動している講師を招きたいと考え、応募するに至った。

### II. 目的

知的障害のある人たちに対して、生涯学習および学生との交流の場を提供することによって、知的障害のある人たちにはソーシャルスキルの獲得および余暇の充実、学生に対しては知的障害のある人たちへの理解促進を図ることを本事業の目的とする。

### III. 参加者

県内在住の18歳以上の知的障害のある人

### IV. 事業の内容

平成25年4月30日 合浦公園お花見会

平成25年6月16日 オープンカレッジ開催(音楽の講師として竹内好江先生)

平成25年8月2日～5日 青森青年会議所主催ねぶた祭手伝い

平成25年12月8日 クリスマス会(レクリエーションの講師として和島知己先生)

平成26年2月9日 オープンカレッジ開催(バドミントンの講師小野真実先生、絵手紙の講師澤容子先生)

### V. 事業の効果

本事業は、学内外問わず、多くの効果を得られた。学内においては、教員や他学科の学生も、オープンカレッジの講座などに協力してくれたことにより、知的障害のある人への理解が深まった。また、助成によって、選択科目のバリエーションをつけることができたことによって、障害が重く体力のない受講生と、スポーツによってストレス発散したい受講生双方に満足が得られる講座を提供できた。事業の効果としては、青森県内の大学において、知的障害のある人たちの地域生活を豊かにし、障害のない学生との交流を目指して、このような取り組みを行っているのは、本学だけである。知的障害のある人が気軽に集うことができる場が少ない状況の中、必要な社会スキルを獲得する場だけではなく、障害のない学生との交流を通じて、日常生活を豊かにすることに大いに貢献できたと思われる。